

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（生活環境学科） 合計 12科目 32単位

科目名	単位数	教員名	実務経験	授業内容
こころとからだのしくみⅢ	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	<p>介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とする。</p> <p>この授業では、生活支援の場面に応じた機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する内容とする。また、人生の最終段階にある人と家族を支援するため、終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響について学び、生活支援を行うために必要となる基礎的な知識を理解する内容とする。</p>
人体の構造と機能	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	<p>医療事務職では、実際に医療行為に携わることはないが、医療機関の経営・収入に直結する仕事という特性から、基礎的な医療知識を学ぶことは大変有意義なことである。</p> <p>そこで、この授業では、人体の構造とそのしくみ、疾患について学習し、診療記録の理解につなげることを目的とする。</p>
チームマネジメント	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	<p>介護は医療や保健等からなる包括的なチームによる実践であり、チームで働く力を養うためには、マネジメントに関する基礎的な知識をおさえるだけでなく、リーダーやフォロワーがとるべき行動を理解し、チームワークを展開できる実践力を育むことが求められる。</p> <p>そこで本授業では、介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。</p>
医療的ケアⅡ	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	<p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p> <p>国の「喀痰吸引等研修実施要綱（平成24年3月30日）」に定める「基本研修（演習）評価基準」の手順通り実施できることを目的に演習する。</p>
介護の基本Ⅳ	4単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	<p>介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その役割と機能である介護を必要とする人の理解と生活を支える社会のしくみ、尊厳の保持と自立支援の考え方を踏まえた生活を支えるための介護、適切な介護の提供に必要な根拠としてのこころとからだのしくみ等、介護実践の基礎となる知識を理論的に学び、理解するための学習とする。</p>
		池田奈緒実	介護職員7年 介護福祉士	

介護総合演習Ⅲ	1 単位	池田奈緒実	介護職員 7 年 介護福祉士	介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。 そこで、本授業では個別ケアを行うために、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者のニーズに沿って利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価、計画の修正といった一連の介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を身につける。
介護総合演習Ⅳ	1 単位	池田奈緒実	介護職員 7 年 介護福祉士	介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。
介護の基本Ⅲ	2 単位	池田奈緒実	介護職員 7 年 介護福祉士	介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。この授業では、保健・医療・福祉に関する他の職種の特長や役割と機能、介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解を深め、自立支援・利用者主体を基盤とした支援に必要な幅広い知識、思考を養うことを目的とする。
介護過程Ⅲ	2 単位	池田奈緒実	介護職員 7 年 介護福祉士	他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。本科目では、介護過程の意義・目的・目標を明確にし、心身の状況に応じた生活を支援する手段として、介護計画を立案し、介護実践の評価の方法を習得する。
介護過程Ⅳ	2 単位	池田奈緒実	介護職員 7 年 介護福祉士	介護過程では、介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術等他の科目との連動を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う学習とする。 そこで、本授業では、個別の事例を通じて、対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開ができるようにする。
介護実習	10 単位	池田奈緒実	介護職員 7 年 介護福祉士	地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学

				<p>習とする。また、本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で介護過程を実践するための基礎的な能力を習得する学習とする。</p> <p>そこで、本科目では居宅で暮らす介護を必要とする高齢者、障害福祉サービスの利用者、介護老人施設の利用者を通して、サービスの内容や利用者像を理解し、介護に対する知識と技術の統合を図ることを目的とする。</p>
コミュニケーション論	2単位	酒井 律子	臨床心理士 33年2ヵ月 公認心理師 4年3ヵ月	<p>コミュニケーションの理論を学ぶことを通して、人間関係の理解や実践的なコミュニケーション能力の基盤となる力が育まれることを目的とする。これは、日常の人間関係においてだけでなく、介護や保育などの対人援助職としての実践場面において求められる、いわゆる「人間力」とも深くかかわっている力でもある。本授業では、コミュニケーション学の基本的な理論を学ぶとともに、実習なども交えて「自己を理解し」・「他者を理解し」・「他者との関係を理解する」ことを体験的に学び、人間関係の構築・ファシリテーション・配慮的行動等ができる等の「人間力」の素地が培われることを目指す。</p>

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（幼児教育保育学科） 合計 12科目 24単位

科目名	単位数	教員名	実務経験	授業内容
子どもと言葉	1単位	尾崎 綾子	幼稚園教諭、園長等、38年	領域「言葉」について、子どもが豊かな言葉や表現を身につけ、創造する楽しさを広げるために必要な専門的な知識を身につける。人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解する。また、子どもにとっての児童文化財の意義を理解する。
保育内容言葉	1単位	尾崎 綾子	幼稚園教諭、園長等、38年	幼稚園・認定こども園・保育所において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深める。子どもの発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。また、他の領域との関連や小学校とのつながりの重要性を理解する。
教育実習	4単位	尾崎 綾子	幼稚園教諭、園長等、38年	幼稚園での実習を通して、幼児教育の目的・内容を理解し幼稚園教諭として必要な資質・能力・技能を習得する。
		藤原 牧子	保育士10年	
教育実習指導	1単位	尾崎 綾子	幼稚園教諭、園長等、38年	幼稚園教育の目的や内容を理解し、実習を円滑に進めていくために必要な知識や技術を習得する。また、幼稚園教諭に必要な知識や技術を意欲的に習得し、望ましい子ども観・保育観を構築する。
		藤原 牧子	保育士10年	
乳児保育 I	2単位	藤原 牧子	保育士10年	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解する。 2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。
保育実習 I	4単位	藤原 牧子	保育士10年	保育所、児童福祉施設等の役割や機能、保育士の業務内容や職業倫理を理解するとともに観察や子どもとの関わりを通して子ども理解を深める。また、既習の教科内容を踏まえて子どもの保育と保護者への支援について総合的に学び、保育に必要な計画・観察・記録・自己評価について観察や実践を通して具体的に理解する。

保育実習Ⅱ	2単位	藤原 牧子	保育士10年	保育所の役割や機能、保育士の業務内容や職業倫理、子育て支援について具体的な実践を通して理解する。既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、総合的な理解を深める。また、保育実習Ⅰの経験を踏まえ保育の計画・実践・観察・記録および自己評価等について、具体的な実践を通して学ぶ。
保育実習Ⅲ	1単位	藤原 牧子	保育士10年	児童福祉施設（保育所以外）、その他の社会施設の養護を実際に体験し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。また、施設の実態に触れて社会的ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子どもを支援するために必要とされる能力を培う。
保育内容総論	1単位	藤原 牧子	保育士10年	幼稚園・認定こども園・保育所で幼児教育において育みたい資質能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を理解し、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に示された領域のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深める。 幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。
保育実習指導Ⅰ	2単位	藤原 牧子	保育士10年	保育実習の意義・目的および実習施設における子どもの人権と最善の利益、プライバシーの保護、守秘義務について理解する。また、実習内容および実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や実習内容について具体的に理解するとともに、自らの課題を明確にする。さらに、実習を円滑に進めていくために必要な知識や技術を習得し、保育実践力を高める。
保育実習指導Ⅱ	1単位	藤原 牧子	保育士10年	保育実習Ⅱの意義や目的および実習の計画・実践・記録・評価の方法や内容について事例を通して学ぶとともに保育所実習に必要な保育実践力を模擬保育や教材研究に取り組むことから高める。また、保育実習Ⅰでの経験や既習の教科内容との関連した学びを基に、保育士の専門性と職業倫理についての理解を深める。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。